

本栖湖における外来魚レイトラウトの生息実態調査及び効率的駆除方法の確立 (R6~8)

水産技術センター

背景・目的

<経緯>

- ◆令和4年11月、本栖湖で外来魚**レイトラウト**が確認された
- ◆生息確認は栃木県の中禅寺湖に続く全国で2例目
- ◆本栖湖における近年のヒメマスの不漁要因として疑われている

<山梨県の初動対応-1>

- ◆同年12月に内水面漁場管理委員会は漁業法に基づく委員会指示を发出
- ◆指示の内容は、本種の放流・再放流・生体での持ち出し禁止

<山梨県の初動対応-2>

- ◆水産技術センターは同年12月から予備的な捕獲調査及び駆除を開始
- ◆捕獲状況からすでに大規模な繁殖が進んでいるおそれ

レイトラウトとは

- ◆北米大陸原産の外来魚。イワナの仲間（サケ科魚類）
- ◆寿命が40年以上と長い。全長は1mを超える
- ◆魚食性が強く、海外では本種の侵入により在来魚が壊滅的な被害（米国のある湖では駆除費用2億円以上/年）
- ◆本栖湖のような流入河川がない湖でも繁殖可能（通常のサケ科魚は湖で繁殖ができない）
- ◆適水温が低く、高冷地の湖での生息に適している

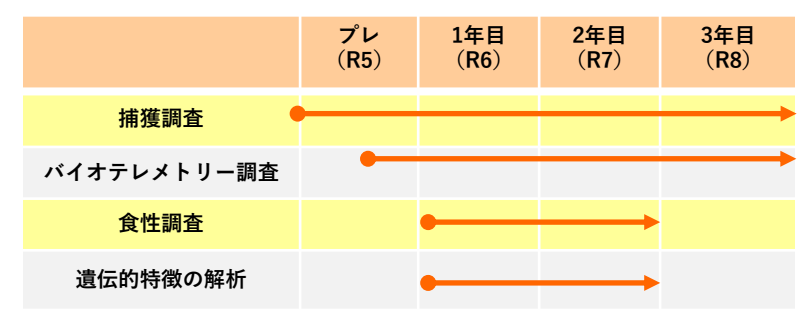


<研究の目的>

- ◆本種の生息実態を調査し、個体数抑制のための効率的かつ持続可能な駆除方法を確立する

研究内容

1. 漁具を用いた捕獲調査
刺網を用いてレイトラウトを捕獲し、漁具の適性、季節ごとの捕獲場所や捕獲量の変動、サイズや年齢の分布などを調査
2. バイオテレメトリー調査
本研究のコアとなる調査。レイトラウトに発信機を装着し、産卵場や群がる場所など、**集中的な駆除に適した場所・時期を特定**
3. 食性調査
レイトラウトの消化管内容物のDNA塩基配列に基づく食性解析を実施
4. 遺伝的特徴の解析（中禅寺湖との比較）
遺伝子解析により捕獲したレイトラウトの初期移入集団の規模等を調べる



期待される成果

- ◆持続的な駆除の実施に向けた、労力対効果の高い効率的な駆除方法の確立による既存漁業や観光資源の回復
- ◆他水域への本種侵入防止のための啓発、規制強化のための根拠となるデータの取得